

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年11月16日～2050年 9月16日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主 要 投資対象	為 替 ヘ ッ ジ 有 り	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	為 替 ヘ ッ ジ な し	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	隔月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド
(為替ヘッジあり/隔月分配型) (為替ヘッジなし/隔月分配型)
(為替ヘッジあり/資産成長型) (為替ヘッジなし/資産成長型)
(愛称：選択の達人)

運用報告書 (全体版)

隔月分配型

第35期 (決算日 2024年11月18日)

第36期 (決算日 2025年 1 月17日)

第37期 (決算日 2025年 3 月17日)

資産成長型

第13期 (決算日 2025年 3 月17日)

(作成対象期間 2024年 9 月18日～2025年 3 月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3379>
<3380>
<3381>
<3382>

為替ヘッジあり／隔月分配型

最近 15 期の運用実績

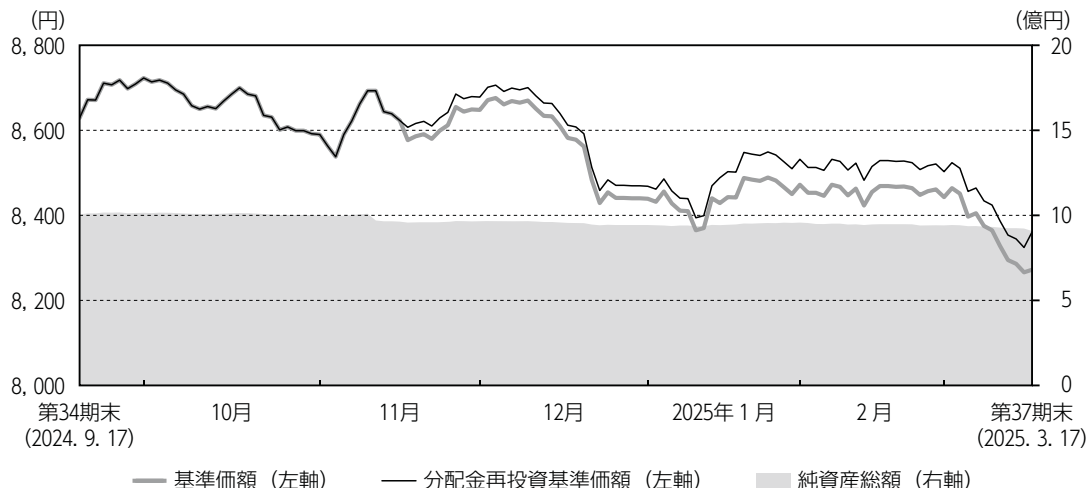
決 算 期	基 準 価 額				公 社 組 入 率	投 資 組 入 率	信 託 証 券 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 分 配 金	期 騰 落 率	中 率				
	円	円		%	%	%		百万円
23期末（2022年11月17日）	8,920	30	△	1.0	—	99.0		929
24期末（2023年 1 月17日）	9,093	30		2.3	—	99.4		943
25期末（2023年 3 月17日）	8,658	30	△	4.5	—	99.0		877
26期末（2023年 5 月17日）	8,616	30	△	0.1	—	99.2		865
27期末（2023年 7 月18日）	8,726	30		1.6	—	99.0		863
28期末（2023年 9 月19日）	8,543	30	△	1.8	—	99.5		845
29期末（2023年11月17日）	8,420	30	△	1.1	—	99.3		843
30期末（2024年 1 月17日）	8,689	30		3.6	—	99.3		966
31期末（2024年 3 月18日）	8,624	30	△	0.4	0.0	99.3		1,004
32期末（2024年 5 月17日）	8,602	30		0.1	0.0	99.3		1,010
33期末（2024年 7 月17日）	8,664	30		1.1	0.0	99.3		1,006
34期末（2024年 9 月17日）	8,629	30	△	0.1	0.0	99.3		1,005
35期末（2024年11月18日）	8,577	30	△	0.3	0.0	99.4		957
36期末（2025年 1 月17日）	8,429	30	△	1.4	0.0	99.1		942
37期末（2025年 3 月17日）	8,272	30	△	1.5	0.0	99.3		908

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第35期首：8,629円

第37期末：8,272円（既払分配金90円）

騰落率：△3.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有している株式や転換

社債などがマイナス要因となったことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 比 率
			騰 落 率		
第35期		円	%	%	%
	(期 首) 2024年 9月17日	8,629	—	0.0	99.3
	9 月末	8,723	1.1	0.0	99.2
	10月末	8,590	△ 0.5	0.0	99.2
第36期	(期 末) 2024年11月18日	8,607	△ 0.3	0.0	99.4
	(期 首) 2024年11月18日	8,577	—	0.0	99.4
	11月末	8,648	0.8	0.0	99.3
	12月末	8,439	△ 1.6	0.0	99.2
第37期	(期 末) 2025年 1月17日	8,459	△ 1.4	0.0	99.1
	(期 首) 2025年 1月17日	8,429	—	0.0	99.1
	1 月末	8,472	0.5	0.0	99.2
	2 月末	8,443	0.2	0.0	99.2
	(期 末) 2025年 3月17日	8,302	△ 1.5	0.0	99.3

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 9. 18 ～ 2025. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、株式市場はほぼ横ばいとなり、国債金利は上昇（債券価格は下落）しました。

株式市場は、当作成期首より、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利するとの見方が強まったことから上昇基調で推移しました。2024年12月中旬にF R B（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ米国政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、下落して当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、米国の雇用指標が市場予想を大きく上回ったことで大幅な利下げ織り込みがはく落したことや、米国大統領選挙を控えて財政赤字拡大への懸念が広がったことなどから、金利は大きく上昇しました。2024年11月も、不確実性の高まりなどから金利は継続して上昇しましたが、米国大統領・連邦議会選挙が早期に決着したことで不確実性が後退すると、その後、金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかし12月に入ると、底堅い経済指標等を背景に利下げペースの鈍化が意識されたことや、F R Bが今後の政策金利・経済見通しを引き上げたことなどから、金利は上昇基調となりました。2025年に入ると、インフレ鈍化の傾向が継続していることが確認され、金利は低下に転じました。2月以降も、各種経済指標が予想を下振れたことや地政学リスクが高まったことなどから、金利は低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 9. 18 ~ 2025. 3. 17)

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期
	2024年 9月18日 ～2024年11月18日	2024年11月19日 ～2025年 1月17日	2025年 1月18日 ～2025年 3月17日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.35	0.35	0.36
当期の収益 (円)	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,087	1,095	1,103

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 36.62円	✓ 37.18円	✓ 37.93円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	619.61	628.44	635.62
(d) 分配準備積立金	461.60	459.70	459.80
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,117.84	1,125.33	1,133.36
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,087.84	1,095.33	1,103.36

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

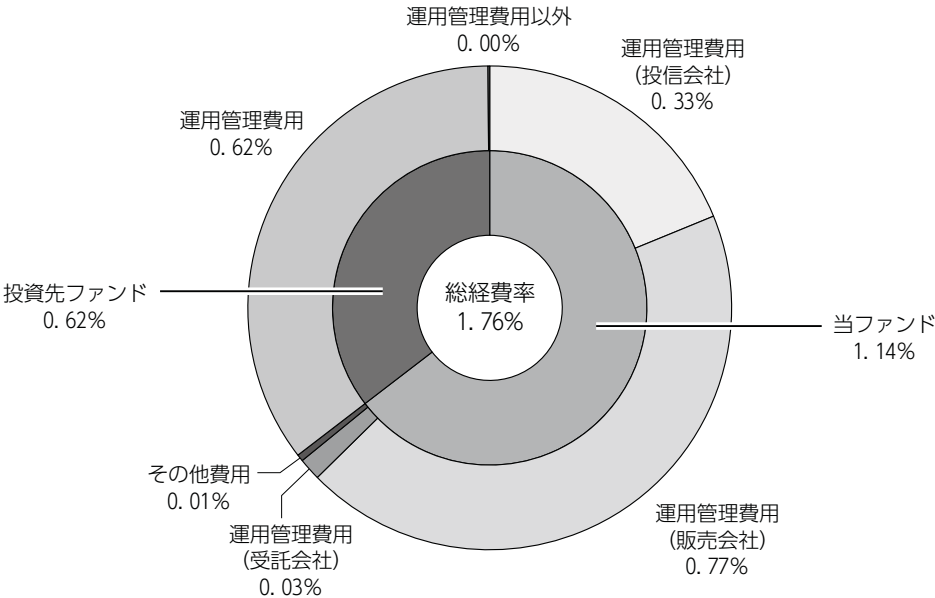
項 目	第35期～第37期 (2024. 9. 18～2025. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	48円	0. 559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8, 543円です。
（投 信 会 社）	(14)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(33)	(0. 382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	48	0. 563	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注4）各比率は、年率換算した値です。
（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年 9月18日から2025年 3月17日まで)

決 算 期		第 35 期 ～ 第 37 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口	千円	千口	千円
		358,419,987	28,204	1,047,935,929	83,090

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 37 期 末		
	□ 数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口	千円	%
	11,764,532,892	901,880	99.3

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年 3月17日現在

項 目	第 37 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円	%
	901,880	97.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	26,618	2.9
投資信託財産総額	928,500	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 34 期 末	第 37 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口	千口	千円
	1	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年11月18日)、(2025年 1月17日)、(2025年 3月17日) 現在

項 目	第35期末	第36期末	第37期末
(A) 資産	963,363,681円	947,777,806円	944,510,780円
コール・ローン等	11,886,360	13,159,598	10,608,302
投資信託受益証券（評価額）	951,475,700	934,616,587	901,880,856
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,621	1,621	1,622
未収入金	—	—	32,020,000
(B) 負債	5,691,213	5,146,643	36,306,270
未払金	—	—	16,010,000
未払収益分配金	3,349,846	3,355,125	3,293,837
未払解約金	403,860	—	15,241,736
未払信託報酬	1,923,465	1,764,591	1,721,204
その他未払費用	14,042	26,927	39,493
(C) 純資産総額（A－B）	957,672,468	942,631,163	908,204,510
元本	1,116,615,633	1,118,375,137	1,097,945,745
次期繰越損益金	△ 158,943,165	△ 175,743,974	△ 189,741,235
(D) 受益権総口数	1,116,615,633口	1,118,375,137口	1,097,945,745口
1万口当り基準価額（C／D）	8,577円	8,429円	8,272円

* 当作成期首における元本額は1,165,520,382円、当作成期間（第35期～第37期）中における追加設定元本額は43,644,351円、同解約元本額は111,218,988円です。

* 第37期末の計算口数当りの純資産額は8,272円です。

* 第37期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は189,741,235円です。

■損益の状況

第35期 自2024年 9月18日 至2024年11月18日
第36期 自2024年11月19日 至2025年 1月17日
第37期 自2025年 1月18日 至2025年 3月17日

項 目	第35期	第36期	第37期
(A) 配当等収益	6,026,907円	5,936,360円	5,899,314円
受取配当金	6,022,944	5,932,865	5,892,380
受取利息	3,963	3,495	6,934
(B) 有価証券売買損益	△ 6,596,695	△ 17,150,476	△ 18,104,882
売買益	300,003	205,837	425,398
売買損	△ 6,896,698	△ 17,356,313	△ 18,530,280
(C) 信託報酬等	△ 1,937,507	△ 1,777,476	△ 1,733,770
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 2,507,295	△ 12,991,592	△ 13,939,338
(E) 前期繰越損益金	△ 141,649,322	△ 145,048,157	△ 156,041,446
(F) 追加信託差損益金	△ 11,436,702	△ 14,349,100	△ 16,466,614
(配当等相当額)	(69,187,296)	(70,283,386)	(69,788,325)
(売買損益相当額)	(△ 80,623,998)	(△ 84,632,486)	(△ 86,254,939)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 155,593,319	△ 172,388,849	△ 186,447,398
(H) 収益分配金	△ 3,349,846	△ 3,355,125	△ 3,293,837
次期繰越損益金（G＋H）	△ 158,943,165	△ 175,743,974	△ 189,741,235
追加信託差損益金	△ 11,436,702	△ 14,349,100	△ 16,466,614
(配当等相当額)	(69,187,296)	(70,283,386)	(69,788,325)
(売買損益相当額)	(△ 80,623,998)	(△ 84,632,486)	(△ 86,254,939)
分配準備積立金	52,283,424	52,215,840	51,355,561
繰越損益金	△ 199,789,887	△ 213,610,714	△ 224,630,182

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第35期	第36期	第37期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,089,400円	4,158,884円	4,165,544円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	69,187,296	70,283,386	69,788,325
(d) 分配準備積立金	51,543,870	51,412,081	50,483,854
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	124,820,566	125,854,351	124,437,723
(f) 分配金	3,349,846	3,355,125	3,293,837
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	121,470,720	122,499,226	121,143,886
(h) 受益権総口数	1,116,615,633□	1,118,375,137□	1,097,945,745□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1 万口当り分配金（税込み）	第35期	第36期	第37期
	30円	30円	30円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

為替ヘッジなし／隔月分配型

最近 15 期の運用実績

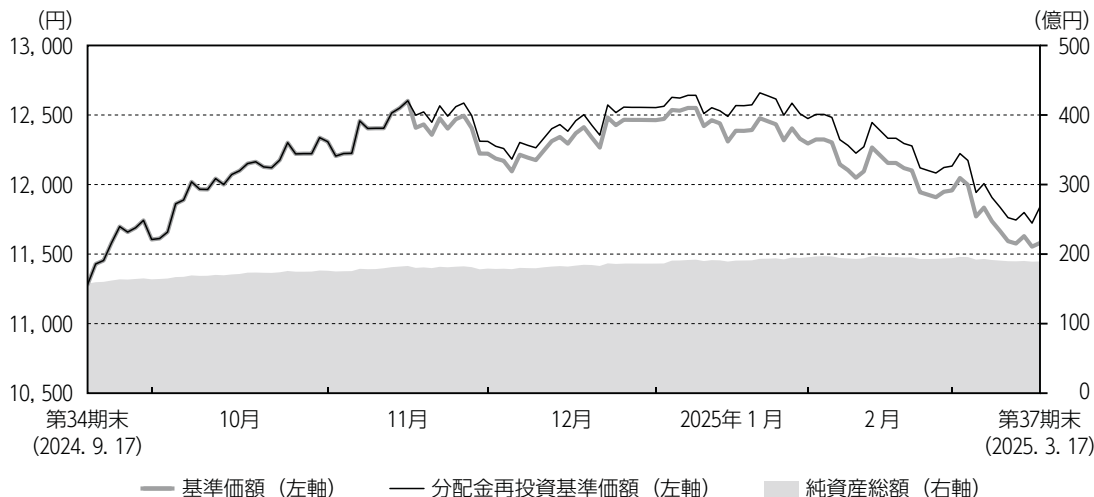
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率	公 組 比			
	円	円	%		%	%	百万円
23期末（2022年11月17日）	10,849	80	△ 2.8	—	—	99.4	9,771
24期末（2023年 1 月17日）	10,179	80	△ 5.4	—	—	99.3	9,215
25期末（2023年 3 月17日）	10,142	80	0.4	—	—	99.3	9,215
26期末（2023年 5 月17日）	10,415	80	3.5	—	—	99.2	9,695
27期末（2023年 7 月18日）	10,763	80	4.1	—	—	99.0	10,174
28期末（2023年 9 月19日）	11,322	80	5.9	—	—	99.1	11,132
29期末（2023年11月17日）	11,414	90	1.6	—	—	99.2	11,917
30期末（2024年 1 月17日）	11,595	90	2.4	—	—	99.4	12,510
31期末（2024年 3 月18日）	11,741	90	2.0	0.0	—	99.2	13,726
32期末（2024年 5 月17日）	12,273	90	5.3	0.0	—	99.0	15,405
33期末（2024年 7 月17日）	12,693	90	4.2	0.0	—	99.0	16,887
34期末（2024年 9 月17日）	11,281	90	△ 10.4	0.0	—	99.3	15,752
35期末（2024年11月18日）	12,408	90	10.8	0.0	—	99.3	18,009
36期末（2025年 1 月17日）	12,310	90	△ 0.1	0.0	—	99.2	18,931
37期末（2025年 3 月17日）	11,580	90	△ 5.2	0.0	—	99.3	18,938

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第35期首：11,281円

第37期末：11,580円（既払分配金270円）

騰落率：5.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保有している株式や転換社債などがマイナス要因となったものの、米ド

ル円為替相場が円安米ドル高となりプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジーヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 率
			騰 落 率		
第35期		円	%	%	%
	(期 首) 2024年 9月17日	11, 281	—	0. 0	99. 3
	9 月末	11, 605	2. 9	0. 0	98. 6
	10月末	12, 308	9. 1	0. 0	99. 0
第36期	(期 末) 2024年11月18日	12, 498	10. 8	0. 0	99. 3
	(期 首) 2024年11月18日	12, 408	—	0. 0	99. 3
	11月末	12, 222	△ 1. 5	0. 0	98. 7
	12月末	12, 463	0. 4	0. 0	99. 3
第37期	(期 末) 2025年 1月17日	12, 400	△ 0. 1	0. 0	99. 2
	(期 首) 2025年 1月17日	12, 310	—	0. 0	99. 2
	1 月末	12, 295	△ 0. 1	0. 0	99. 0
	2 月末	11, 958	△ 2. 9	0. 0	99. 2
	(期 末) 2025年 3月17日	11, 670	△ 5. 2	0. 0	99. 3

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 9. 18 ～ 2025. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、株式市場はほぼ横ばいとなり、国債金利は上昇（債券価格は下落）しました。

株式市場は、当作成期首より、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利するとの見方が強まったことから上昇基調で推移しました。2024年12月中旬にF R B（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ米國政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、下落して当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、米国の雇用指標が市場予想を大きく上回ったことで大幅な利下げ織り込みがはく落したことや、米国大統領選挙を控えて財政赤字拡大への懸念が広がったことなどから、金利は大きく上昇しました。2024年11月も、不確実性の高まりなどから金利は継続して上昇しましたが、米国大統領・連邦議会選挙が早期に決着したことで不確実性が後退すると、その後、金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかし12月に入ると、底堅い経済指標等を背景に利下げペースの鈍化が意識されたことや、F R Bが今後の政策金利・経済見通しを引き上げたことなどから、金利は上昇基調となりました。2025年に入ると、インフレ鈍化の傾向が継続していることが確認され、金利は低下に転じました。2月以降も、各種経済指標が予想を下振れたことや地政学リスクが高まったことなどから、金利は低下しました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。2024年11月も、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、月半ばになると、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安が進行しました。2025年1月に入ると、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、円高に転じました。2月以降も、米国金利の低下や日銀の委員が利上げを進める方針を示したことなどから、円高が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2024. 9. 18 ～ 2025. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期
	2024年9月18日 ～2024年11月18日	2024年11月19日 ～2025年1月17日	2025年1月18日 ～2025年3月17日
当期分配金(税込み) (円)	90	90	90
対基準価額比率 (%)	0.72	0.73	0.77
当期の収益 (円)	90	82	84
当期の収益以外 (円)	—	8	5
翌期繰越分配対象額 (円)	3,159	3,153	3,148

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 103.82円	✓ 82.00円	✓ 84.25円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,543.97	1,664.86	1,769.54
(d) 分配準備積立金	1,601.22	✓ 1,496.14	✓ 1,384.55
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,249.02	3,243.01	3,238.36
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,159.02	3,153.01	3,148.36

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

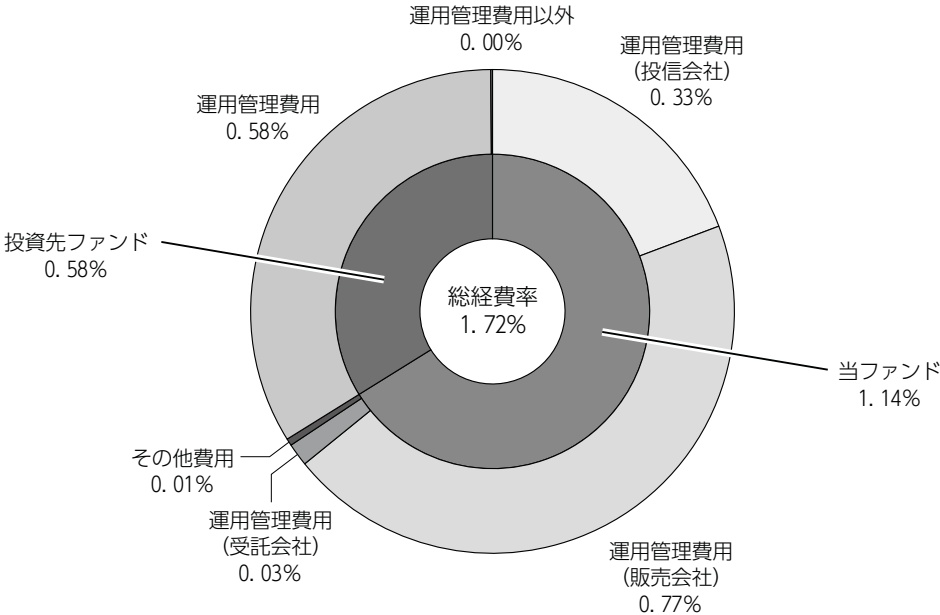
項 目	第35期～第37期 (2024. 9. 18～2025. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0. 559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12, 172円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0. 382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	68	0. 563	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
- (注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年 9月18日から2025年 3月17日まで)

決 算 期		第 35 期 ～ 第 37 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	27, 872. 626249	3, 139, 046	2, 370. 831916	260, 000

（注 1）金額は受渡し代金。
（注 2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 37 期 末		
	口 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	175, 771. 010207	18, 800, 467	99. 3

（注 1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注 2）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年 3月17日現在

項 目	第 37 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	18, 800, 467	97. 9
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0. 0
コール・ローン等、その他	394, 705	2. 1
投資信託財産総額	19, 195, 174	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 34 期 末	第 37 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	1	1

（注）単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年11月18日)、(2025年 1月17日)、(2025年 3月17日) 現在

項 目	第35期末	第36期末	第37期末
(A) 資産	18, 210, 065, 097円	19, 298, 762, 393円	19, 195, 174, 662円
コール・ローン等	329, 569, 237	453, 840, 499	394, 705, 959
投資信託受益証券（評価額）	17, 880, 494, 409	18, 774, 920, 443	18, 800, 467, 251
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1, 451	1, 451	1, 452
未収入金	—	70, 000, 000	—
(B) 負債	200, 576, 333	367, 752, 789	256, 339, 162
未払金	—	140, 000, 000	—
未払収益分配金	130, 628, 773	138, 403, 060	147, 194, 488
未払解約金	36, 898, 849	54, 703, 804	73, 180, 168
未払信託報酬	32, 808, 683	34, 155, 999	35, 216, 929
その他未払費用	240, 028	489, 926	747, 577
(C) 純資産総額（A－B）	18, 009, 488, 764	18, 931, 009, 604	18, 938, 835, 500
元本	14, 514, 308, 198	15, 378, 117, 798	16, 354, 943, 186
次期繰越損益金	3, 495, 180, 566	3, 552, 891, 806	2, 583, 892, 314
(D) 受益権総口数	14, 514, 308, 198口	15, 378, 117, 798口	16, 354, 943, 186口
1万口当り基準価額（C／D）	12, 408円	12, 310円	11, 580円

* 当作成期首における元本額は13, 963, 289, 755円、当作成期間（第35期～第37期）中における追加設定元本額は3, 092, 275, 807円、同解約元本額は700, 622, 376円です。
* 第37期末の計算口数当りの純資産額は11, 580円です。

■損益の状況

第35期 自2024年 9月18日 至2024年11月18日
第36期 自2024年11月19日 至2025年 1月17日
第37期 自2025年 1月18日 至2025年 3月17日

項 目	第35期	第36期	第37期
(A) 配当等収益	153, 618, 775円	160, 513, 942円	173, 272, 690円
受取配当金	153, 529, 245	160, 403, 892	173, 054, 729
受取利息	89, 530	110, 050	217, 961
(B) 有価証券売買損益	1, 583, 613, 809	△ 135, 697, 611	△ 1, 170, 876, 386
売買益	1, 599, 331, 211	1, 397, 992	7, 615, 592
売買損	△ 15, 717, 402	△ 137, 095, 603	△ 1, 178, 491, 978
(C) 信託報酬等	△ 33, 048, 711	△ 34, 405, 897	△ 35, 474, 580
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1, 704, 183, 873	△ 9, 589, 566	△ 1, 033, 078, 276
(E) 前期繰越損益金	455, 663, 947	1, 991, 689, 483	1, 824, 317, 012
(F) 追加信託差損益金	1, 465, 961, 519	1, 709, 194, 949	1, 939, 848, 066
（配当等相当額）	(2, 240, 966, 892)	(2, 560, 247, 635)	(2, 894, 085, 485)
（売買損益相当額）	(△ 775, 005, 373)	(△ 851, 052, 686)	(△ 954, 237, 419)
(G) 合計（D＋E＋F）	3, 625, 809, 339	3, 691, 294, 866	2, 731, 086, 802
(H) 収益分配金	△ 130, 628, 773	△ 138, 403, 060	△ 147, 194, 488
次期繰越損益金（G＋H）	3, 495, 180, 566	3, 552, 891, 806	2, 583, 892, 314
追加信託差損益金	1, 465, 961, 519	1, 709, 194, 949	1, 939, 848, 066
（配当等相当額）	(2, 240, 966, 892)	(2, 560, 247, 635)	(2, 894, 085, 485)
（売買損益相当額）	(△ 775, 005, 373)	(△ 851, 052, 686)	(△ 954, 237, 419)
分配準備積立金	2, 344, 142, 213	2, 288, 493, 259	2, 255, 041, 599
繰越損益金	△ 314, 923, 166	△ 444, 796, 402	△ 1, 610, 997, 351

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第35期	第36期	第37期
(a) 経費控除後の配当等収益	150,697,269円	126,108,045円	137,798,110円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	2,240,966,892	2,560,247,635	2,894,085,485
(d) 分配準備積立金	2,324,073,717	2,300,788,274	2,264,437,977
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	4,715,737,878	4,987,143,954	5,296,321,572
(f) 分配金	130,628,773	138,403,060	147,194,488
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	4,585,109,105	4,848,740,894	5,149,127,084
(h) 受益権総口数	14,514,308,198口	15,378,117,798口	16,354,943,186口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1 万口当り分配金（税込み）	第35期	第36期	第37期
	90円	90円	90円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

為替ヘッジあり／資産成長型

最近 5 期の運用実績

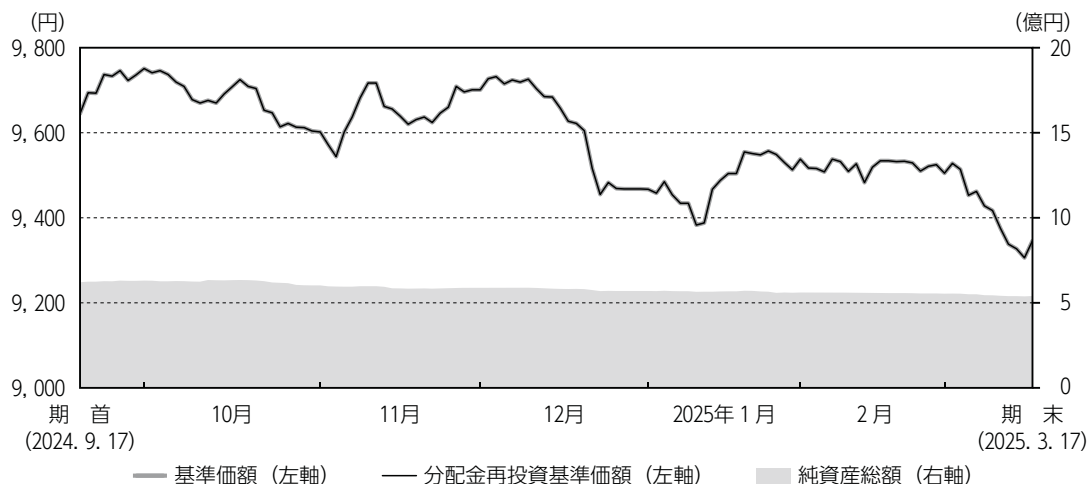
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率	公 社 債 組 入 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
9 期末（2023年 3 月17日）	9,383	0	△ 3.3	—	98.8	758	
10期末（2023年 9 月19日）	9,354	0	△ 0.3	—	99.1	692	
11期末（2024年 3 月18日）	9,541	0	2.0	0.0	95.3	712	
12期末（2024年 9 月17日）	9,645	0	1.1	0.0	99.3	621	
13期末（2025年 3 月17日）	9,346	0	△ 3.1	0.0	99.3	540	

（注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注 2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注 3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注 4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：9,645円

期末：9,346円（分配金0円）

騰落率：△3.1%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有している株式や転換

社債などがマイナス要因となったことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
		騰 落 率					
(期 首) 2024年 9 月17日	円 9,645	% —		% 0.0			% 99.3
9 月末	9,751	1.1		0.0			99.4
10月末	9,602	△ 0.4		0.0			98.7
11月末	9,701	0.6		0.0			99.4
12月末	9,467	△ 1.8		0.0			99.3
2025年 1 月末	9,538	△ 1.1		0.0			99.3
2 月末	9,505	△ 1.5		0.0			99.1
(期 末) 2025年 3 月17日	9,346	△ 3.1		0.0			99.3

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 9. 18 ～ 2025. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、株式市場はほぼ横ばいとなり、国債金利は上昇（債券価格は下落）しました。

株式市場は、当作成期首より、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利するとの見方が強まったことから上昇基調で推移しました。2024年12月中旬にF R B（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ米国政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、下落して当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、米国の雇用指標が市場予想を大きく上回ったことで大幅な利下げ織り込みがはく落したことや、米国大統領選挙を控えて財政赤字拡大への懸念が広がったことなどから、金利は大きく上昇しました。2024年11月も、不確実性の高まりなどから金利は継続して上昇しましたが、米国大統領・連邦議会選挙が早期に決着したことで不確実性が後退すると、その後、金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかし12月に入ると、底堅い経済指標等を背景に利下げペースの鈍化が意識されたことや、F R Bが今後の政策金利・経済見通しを引き上げたことなどから、金利は上昇基調となりました。2025年に入ると、インフレ鈍化の傾向が継続していることが確認され、金利は低下に転じました。2月以降も、各種経済指標が予想を下振れたことや地政学リスクが高まったことなどから、金利は低下しました。

■前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 9. 18 ~ 2025. 3. 17)

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2024年9月18日 ～2025年3月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,101

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

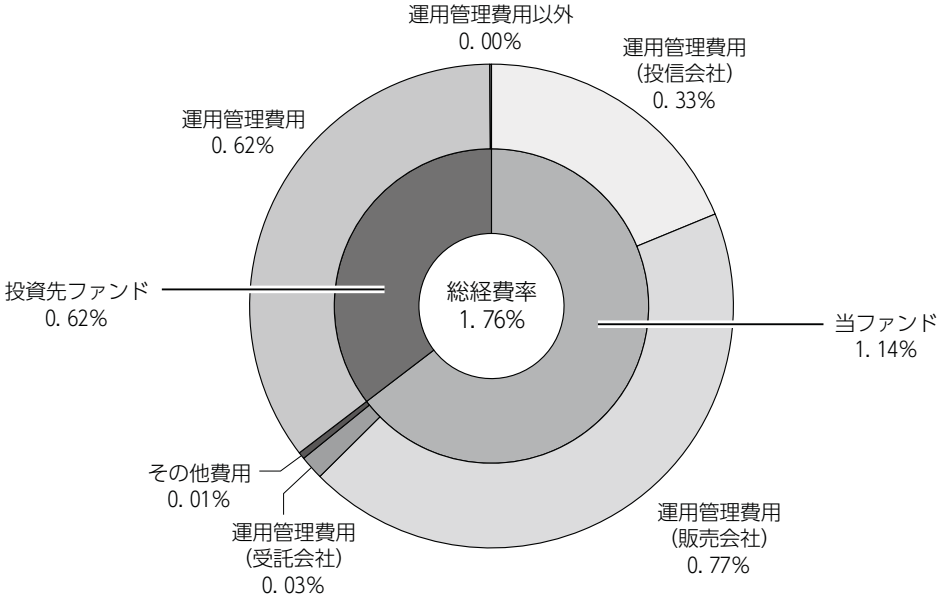
項 目	当 期 (2024. 9. 18～2025. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	54円	0. 559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 585円です。
（投 信 会 社）	(16)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(37)	(0. 382)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	54	0. 563	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
- (注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年9月18日から2025年3月17日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	333.21002	26,505	1,027.897858	81,620

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	6,997.453825	536,431	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	536,431	98.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	7,053	1.3
投資信託財産総額	543,487	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年3月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	543,487,041円
コール・ローン等	7,053,432
投資信託受益証券（評価額）	536,431,807
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,802
(B) 負債	3,290,252
未払信託報酬	3,266,436
その他未払費用	23,816
(C) 純資産総額（A－B）	540,196,789
元本	578,001,148
次期繰越損益金	△ 37,804,359
(D) 受益権総口数	578,001,148口
1万口当り基準価額（C／D）	9,346円

* 期首における元本額は643,993,556円、当作成期間中における追加設定元本額は26,560,921円、同解約元本額は92,553,329円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,346円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は37,804,359円です。

■損益の状況

当期 自2024年9月18日 至2025年3月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,519,930円
受取配当金	10,508,817
受取利息	11,113
(B) 有価証券売買損益	△ 24,531,549
売買益	976,408
売買損	△ 25,507,957
(C) 信託報酬等	△ 3,290,252
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 17,301,871
(E) 前期繰越損益金	△ 43,061,691
(F) 追加信託差損益金	22,559,203
(配当等相当額)	(44,358,584)
(売買損益相当額)	(△ 21,799,381)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 37,804,359
次期繰越損益金 (G)	△ 37,804,359
追加信託差損益金	22,559,203
(配当等相当額)	(44,358,584)
(売買損益相当額)	(△ 21,799,381)
分配準備積立金	77,088,592
繰越損益金	△ 137,452,154

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,229,678円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	44,358,584
(d) 分配準備積立金	69,858,914
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	121,447,176
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	121,447,176
(h) 受益権総口数	578,001,148口

為替ヘッジなし／資産成長型

最近 5 期の運用実績

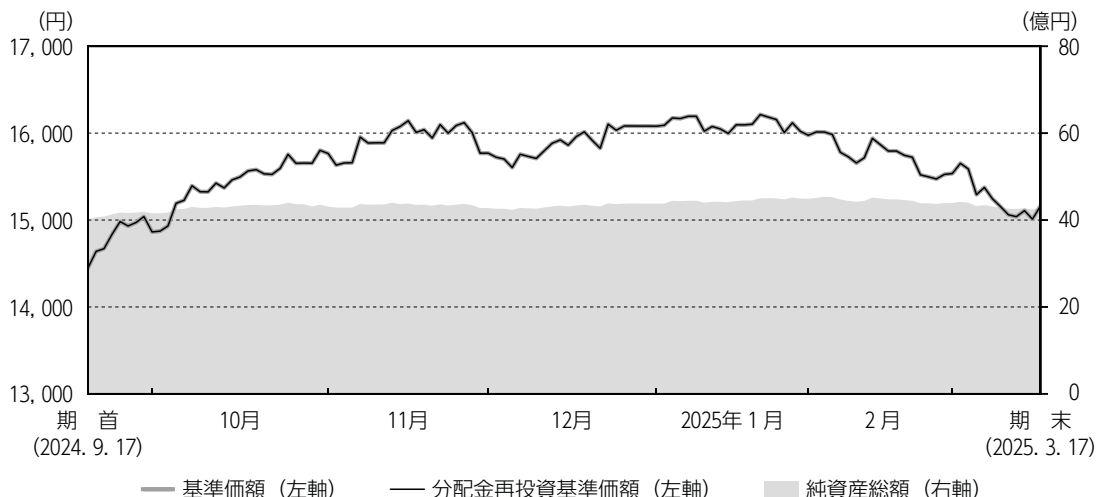
決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
9 期末 (2023年 3 月17日)	12,140	0	△ 7.7	—	99.0	2,253
10期末 (2023年 9 月19日)	13,859	0	14.2	—	99.3	2,687
11期末 (2024年 3 月18日)	14,714	0	6.2	0.0	98.2	3,357
12期末 (2024年 9 月17日)	14,450	0	△ 1.8	0.0	99.3	4,011
13期末 (2025年 3 月17日)	15,161	0	4.9	0.0	99.2	4,288

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：14,450円

期 末：15,161円（分配金0円）

騰落率：4.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保有している株式や転換社債などがマイナス要因となったものの、米ド

ル円為替相場が円安米ドル高となりプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジーヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 率
		騰 落 率		
(期 首) 2024年 9 月17日	円	%	%	%
	14, 450	—	0. 0	99. 3
9 月末	14, 863	2. 9	0. 0	99. 1
10月末	15, 765	9. 1	0. 0	99. 3
11月末	15, 769	9. 1	0. 0	99. 2
12月末	16, 079	11. 3	0. 0	99. 3
2025年 1 月末	15, 975	10. 6	0. 0	98. 8
2 月末	15, 536	7. 5	0. 0	99. 2
(期 末) 2025年 3 月17日	15, 161	4. 9	0. 0	99. 2

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 9. 18 ～ 2025. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、株式市場はほぼ横ばいとなり、国債金利は上昇（債券価格は下落）しました。

株式市場は、当作成期首より、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利するとの見方が強まったことから上昇基調で推移しました。2024年12月中旬にF R B（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ米國政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、下落して当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、米国の雇用指標が市場予想を大きく上回ったことで大幅な利下げ織り込みがはく落したことや、米国大統領選挙を控えて財政赤字拡大への懸念が広がったことなどから、金利は大きく上昇しました。2024年11月も、不確実性の高まりなどから金利は継続して上昇しましたが、米国大統領・連邦議会選挙が早期に決着したことで不確実性が後退すると、その後、金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかし12月に入ると、底堅い経済指標等を背景に利下げペースの鈍化が意識されたことや、F R Bが今後の政策金利・経済見通しを引き上げたことなどから、金利は上昇基調となりました。2025年に入ると、インフレ鈍化の傾向が継続していることが確認され、金利は低下に転じました。2月以降も、各種経済指標が予想を下振れたことや地政学リスクが高まったことなどから、金利は低下しました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。2024年11月も、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、月半ばになると、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安が進行しました。2025年1月に入ると、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、円高に転じました。2月以降も、米国金利の低下や日銀の委員が利上げを進める方針を示したことなどから、円高が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2024. 9. 18 ～ 2025. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2024年9月18日 ～2025年3月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,562

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

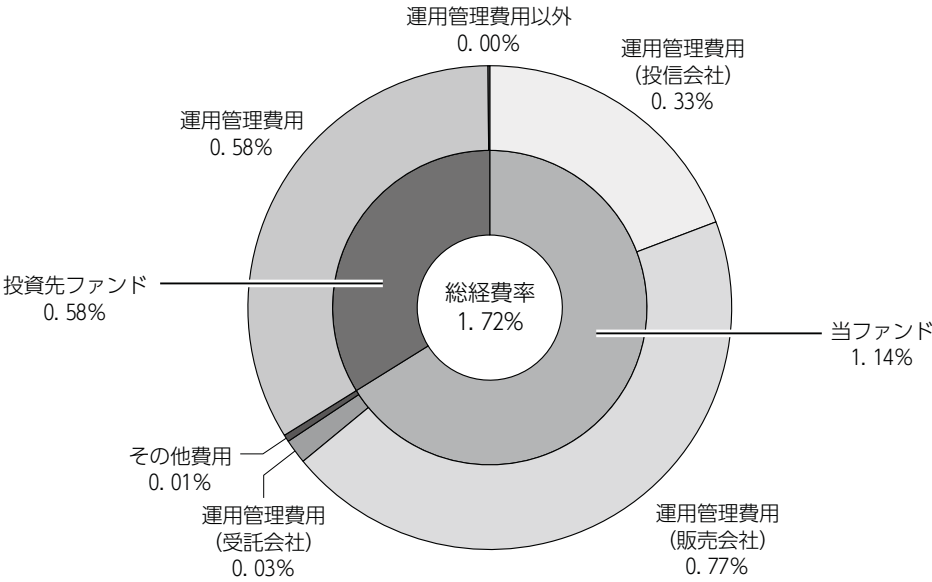
項 目	当 期 (2024. 9. 18～2025. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	88円	0. 559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は 15, 702円です。
(投 信 会 社)	(26)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(60)	(0. 382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	88	0. 563	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注 1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注 3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注 4) 各比率は、年率換算した値です。

(注 5) ①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注 6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注 7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注 8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年 9月18日から2025年 3月17日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	2, 951. 893199	333, 752	1, 452. 934577	164, 560

（注 1）金額は受渡し代金。
（注 2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	39,788. 856405	4, 255, 816	99. 2

（注 1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注 2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	1	1

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年 3月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	4, 255, 816	98. 6
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0. 0
コール・ローン等、その他	61, 059	1. 4
投資信託財産総額	4, 316, 876	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年 3月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4, 316, 876, 467円
コール・ローン等	61, 059, 095
投資信託受益証券（評価額）	4, 255, 816, 081
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1, 291
(B) 負債	27, 943, 075
未払解約金	3, 456, 317
未払信託報酬	24, 308, 974
その他未払費用	177, 784
(C) 純資産総額（A－B）	4, 288, 933, 392
元本	2, 828, 832, 293
次期繰越損益金	1, 460, 101, 099
(D) 受益権総口数	2, 828, 832, 293口
1万口当り基準価額（C／D）	15, 161円

* 期首における元本額は2, 776, 148, 213円、当作成期間中における追加設定元本額は238, 696, 083円、同解約元本額は186, 012, 003円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15, 161円です。

■損益の状況

当期 自2024年9月18日 至2025年3月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	113,318,155円
受取配当金	113,229,457
受取利息	88,698
(B) 有価証券売買損益	80,134,965
売買益	101,702,402
売買損	△ 21,567,437
(C) 信託報酬等	△ 24,486,758
(D) 当期損益金 (A + B + C)	168,966,362
(E) 前期繰越損益金	382,127,214
(F) 追加信託差損益金	909,007,523
(配当等相当額)	(893,188,327)
(売買損益相当額)	(15,819,196)
(G) 合計 (D + E + F)	1,460,101,099
次期繰越損益金 (G)	1,460,101,099
追加信託差損益金	909,007,523
(配当等相当額)	(893,188,327)
(売買損益相当額)	(15,819,196)
分配準備積立金	664,581,628
繰越損益金	△ 113,488,052

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	98,973,812円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	909,007,523
(d) 分配準備積立金	565,607,816
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,573,589,151
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,573,589,151
(h) 受益権総口数	2,828,832,293口

フレキシブル・インカム・ファンド
(円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス)

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

財政状態計算書
2023年12月31日

US\$

資産

現金および現金同等物	77, 419, 354
ブローカーからの預託貸越	87, 543
金融資産（損益通算後の公正価値による評価額）	2, 898, 977, 100
発行済み受益証券の未収入金	15, 817, 847
その他未収金	45, 414, 716

資産合計

3, 037, 716, 560

負債

金融負債（損益通算後の公正価値による評価額）	60, 510
償還済み受益証券の未払金	70, 932
未払手数料	1, 744, 173

負債合計（償還可能資本参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）

1, 875, 615

償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産

3, 035, 840, 945

包括利益計算書

2023年12月31日に終了した年度

US\$

投資損益

金融資産（損益通算後の公正価値による評価額）からの配当収益	24,248,056
現金および現金同等物からの受取利息	3,769,747
債券（損益通算後の公正価値による評価額）からの受取利息	132,039,616
外国為替純損益	(490,687)
金融資産および負債（損益通算後の公正価値による評価額）に係る純損益	113,533,645

投資損益合計

273,100,377

費用

受託会社報酬	291,763
運用会社報酬	14,504,765
成功報酬	61
管理会社報酬	1,167,054
保管会社報酬	791,330
為替運用会社報酬	246,887
為替計算代理人報酬	20,766
監査報酬	42,549
逆イールド費用	747
その他報酬・費用	19,590

営業費用合計

17,085,512

金融費用控除前営業損益

256,014,865

金融費用

分配金	(147,395,878)
-----	---------------

金融費用合計

(147,395,878)

償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産の増減（税引前）

108,618,987

源泉徴収税

(13,054,799)

償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産の増減（税引後）

95,564,188

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
投資適格社債			GLP CAP/FIN II GLPI 5 1/4 06/01/25	9,847,092.34	0.33
ベルギー			GLP CAP/FIN II GLPI 5 3/8 04/15/26	11,060,191.36	0.37
ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 02/01/46	17,183,964.76	0.57	GMAC LLC ALLY 8 11/01/31	30,885,907.52	1.02
ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 02/01/46	16,433,573.29	0.54	GOLDMAN SACHS GP GS 7 1/2 PERP	26,273,653.00	0.87
カナダ			HAT HOLDINGS I HASI 6 04/15/25	20,014,624.13	0.66
COLUMBIA PIPE OC CPGX 6.544 11/15/53	32,283,444.12	1.07	HCA INC HCA 5 1/8 06/15/39	31,229,890.63	1.03
TRANSCANADA TRUS TRPCN 5 7/8 08/15/2076	13,929,252.77	0.46	HP ENTERPRISE HPE 6.35 10/15/45	74,471,121.58	2.47
フランス			LIBERTY MUTUAL LIBMUT 7.8 03/15/37	3,492,879.93	0.12
ARCELORMITTAL MTNA 7 10/15/39	10,058,521.70	0.33	MARRIOTT INTL MAR 4 5/8 06/15/30	17,439,960.61	0.58
ルクセンブルグ			MCDONALD'S CORP MCD 4 7/8 12/09/45	38,101,081.57	1.26
ARCELORMITTAL SA MTNA 6.8 11/29/32	12,421,986.46	0.41	MORGAN STANLEY MS 5.948 01/19/38	17,358,794.84	0.58
ペルー			NEXTERA ENERGY NEE 5.65 05/01/2079	28,371,450.06	0.94
SOUTHERN COPPER SCCO 5 7/8 04/23/45	10,779,990.39	0.36	ORACLE CORP ORCL 4.3 07/08/34	22,425,139.47	0.74
英国			ORACLE CORP ORCL 5.55 02/06/53	10,582,654.75	0.35
ASHTREAD CAPITAL AHTLN 4 05/01/28	19,043,785.74	0.63	PHILLIPS 66 CO PSX 5.3 06/30/33	6,770,745.87	0.22
ASHTREAD CAPITAL AHTLN 5 1/2 08/11/32	13,950,263.23	0.46	PHILLIPS 66 PSX 4.65 11/15/34	25,000,760.23	0.83
米国			RAYMOND JAMES RJF 4.95 07/15/46	8,600,206.32	0.29
ALTRIA GROUP INC MO 5.8 02/14/39	24,138,644.48	0.80	REGAL REXNORD RRX 6.05 04/15/28	2,075,383.23	0.07
AMGEN INC AMGN 4 7/8 03/01/53	37,749,766.34	1.25	REGAL REXNORD RRX 6.4 04/15/33	35,177,969.41	1.17
ANTERO RESOURCES AR 7 5/8 02/01/29	14,807,604.39	0.49	SPRINT CORP S 7 1/8 06/15/24	43,893,348.06	1.45
ARES FIN III LLC ARES 4 1/8 06/30/51	12,153,167.60	0.40	SPRINT CORP S 7 5/8 03/01/26	9,067,630.15	0.30
AT&T INC T Float 06/12/24	33,712,135.01	1.12	TRANSCANADA TRST TRPCN 5.6 03/07/2082	15,459,932.09	0.51
BROADCOM INC AVGO 3.187 11/15/36	19,706,979.13	0.65	VIACOM INC PARA 6 7/8 04/30/36	38,782,239.33	1.29
BROADCOM INC AVGO 4 3/4 04/15/29	13,917,033.12	0.46	VICI PROPRTIE VICI 5 5/8 05/15/52	23,913,263.51	0.79
CELANESE US HLDS CE 6.165 07/15/27	38,370,438.17	1.27	VMWARE LLC VMW 4.7 05/15/30	12,924,377.71	0.43
CENTENE CORP CNC 4 5/8 12/15/29	25,913,654.69	0.86	WARNERMEDIA HLDG WBD 5.141 03/15/52	23,689,626.98	0.79
CHARTER COMM OPT CHTR 6.484 10/23/45	31,983,973.16	1.06	XPO INC XPO 6 1/4 06/01/28	18,367,827.68	0.61
CHARTER COMM OPT CHTR Float 02/01/24	12,414,546.40	0.41	ハイ・イールド社債		
CHENIERE CORP CH CHCOCH 5 1/8 06/30/27	13,453,954.45	0.45	カナダ		
CVS HEALTH CORP CVS 4.78 03/25/38	32,783,874.64	1.09	ALGONQUIN POWER AQNCN 6.2 07/01/2079	6,895,654.23	0.23
DELL INT / EMC DELL 6.2 07/15/30	4,761,670.19	0.16	AUTOMATION TOOLI ATSCN 4 1/8 12/15/28	11,987,992.44	0.40
DIAMONDBACK ENER FANG 6 1/4 03/15/33	14,741,782.84	0.49	EMERA INC EMACN 6 3/4 06/15/2076	45,857,943.67	1.52
ENSTAR FINANCE ESGR 5 1/2 01/15/42	8,394,430.60	0.28	米国		
ENSTAR FINANCE ESGR 5 3/4 09/01/40	9,173,233.58	0.30	ALBERTSONS COS ACI 7 1/2 03/15/26	43,186,082.67	1.43
FORD MOTOR CO F 5.291 12/08/46	25,992,437.21	0.86	AMKOR TECH INC AMKR 6 5/8 09/15/27	34,788,772.93	1.15
FORD MOTOR CRED F 7.35 11/04/27	17,194,292.14	0.57	ASHLAND INC ASH 6 7/8 05/15/43	13,478,708.89	0.45
GENERAL MOTORS C GM 6.6 04/01/36	42,440,448.43	1.41	AVANTOR FUNDING AVTR 4 5/8 07/15/28	11,299,047.96	0.37

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
BATH & BODY WORKS INC 6. 875 11/01/2035	32, 153, 090. 25	1. 07	BANK OF AMER CRP BAC 6. 1 PERP	10, 242, 897. 43	0. 34
CCO HOLDINGS LLC CHTR 5 1/8 05/01/27	21, 805, 979. 25	0. 72	BANK OF AMER CRP BAC 6. 3 PERP	12, 031, 129. 80	0. 40
CNF INC CNW 6. 7 05/01/34	13, 445, 857. 16	0. 45	CAPITAL ONE FINL COF 3. 95 PERP	3, 801, 833. 02	0. 13
DANA INC DAN 4 1/4 09/01/30	11, 884, 959. 92	0. 39	CHARLES SCHWAB SCHW 5 3/8 PERP	24, 891, 978. 37	0. 82
DANA INC DAN 5 5/8 06/15/28	11, 315, 611. 92	0. 38	CHS INC CHSINC 6 3/4 PERP	12, 518, 985. 66	0. 41
ENCOMPASS HLTH EHC 4 3/4 02/01/30	5, 175, 163. 56	0. 17	CHS INC CHSINC 7 7/8 PERP	7, 045, 117. 56	0. 23
GAP INC/THE GPS 3 5/8 10/01/29	17, 361, 212. 01	0. 58	CHS INC CHSINC 7. 1 PERP	8, 399, 383. 63	0. 28
GAP INC/THE GPS 3 7/8 10/01/31	9, 770, 483. 08	0. 32	CITIGROUP INC C 4 PERP	16, 653, 547. 71	0. 55
GCI LLC GCILLC 4 3/4 10/15/28	19, 128, 224. 31	0. 63	CITIGROUP INC C 5. 95 PERP	5, 572, 284. 26	0. 18
GOODYEAR TIRE GT 5 1/4 07/15/31	15, 815, 384. 25	0. 52	CITIGROUP INC C 6 1/4 PERP	17, 717, 977. 74	0. 59
GOODYEAR TIRE GT 9 1/2 05/31/25	7, 081, 758. 92	0. 23	CITIGROUP INC C 7 3/8 PERP	15, 319, 721. 25	0. 51
IRON MOUNTAIN IRM 4 7/8 09/15/29	15, 236, 640. 68	0. 50	CITIGROUP INC C 9. 63301 PERP	3, 013, 421. 62	0. 10
NCR VOYIX CORP VYX 5 1/4 10/01/30	21, 040, 260. 39	0. 70	DISCOVER FIN SVS DFS 6 1/8 PERP	9, 217, 940. 55	0. 31
NCR VOYIX CORP VYX 5 1/8 04/15/29	11, 006, 639. 77	0. 36	DOMINION ENERGY D 4. 35 PERP	12, 797, 978. 86	0. 42
NEXSTAR BROADC NXST 4 3/4 11/01/28	4, 437, 240. 01	0. 15	EDISON INTL EIX 5 PERP	21, 041, 532. 71	0. 70
NEXSTAR ESCROW NXST 5 5/8 07/15/27	31, 891, 517. 11	1. 06	ENSTAR GROUP LTD ESGR 7 PERP	5, 919, 406. 68	0. 20
NORDSTROM INC JWN 5 01/15/44	18, 098, 372. 03	0. 60	FIRST CITIZENS FCNCA Float PERP	9, 554, 089. 74	0. 32
PARAMOUNT GLOB PARA 6 3/8 03/30/62	9, 847, 244. 06	0. 33	GEN MOTORS FIN GM 5. 7 PERP	10, 727, 753. 60	0. 36
PNC FINANCIAL PNC Float PERP	7, 055, 997. 77	0. 23	GEN MOTORS FIN GM 6 1/2 PERP	5, 395, 181. 42	0. 18
ROLLER BEARING RBC 4 3/8 10/15/29	20, 475, 872. 71	0. 68	GOLDMAN SACHS GP GS 4. 95 PERP	2, 045, 671. 95	0. 07
SEAGATE HDD CAYM STX 4. 091 06/01/29	9, 106, 211. 65	0. 30	GOLDMAN SACHS GP GS 5. 3 PERP	6, 150, 746. 33	0. 20
SEAGATE HDD CAYM STX 9 5/8 12/01/32	18, 355, 585. 36	0. 61	JPMORGAN CHASE JPM 6 3/4 PERP	52, 593, 327. 45	1. 74
SEALED AIR CORP SEE 6 7/8 07/15/33	28, 577, 103. 13	0. 95	JPMORGAN CHASE JPM 6. 1 PERP	8, 101, 989. 89	0. 27
SEALED AIR/US SEE 6 1/8 02/01/28	2, 300, 567. 00	0. 08	LAND O'LAKES INC LLAKES 7 1/4 PERP	1, 370, 286. 46	0. 05
SEG HLD/SEG FIN SEGHL 5 5/8 10/15/28	13, 422, 465. 94	0. 44	LAND O'LAKES INC LLAKES 7 PERP	635, 729. 17	0. 02
SIRIUS XM RADIO SIRI 4 07/15/28	14, 689, 968. 28	0. 49	MORGAN STANLEY MS 6 1/2 PERP	4, 676, 579. 00	0. 16
TENET HEALTHCARE THC 6 1/8 10/01/28	11, 590, 976. 53	0. 38	MORGAN STANLEY MS 6 7/8 PERP	1, 446, 156. 00	0. 05
TRIPADVISOR INC TRIP 7 07/15/25	36, 987, 236. 48	1. 23	MORGAN STANLEY MS 7 1/8 PERP	11, 542, 002. 16	0. 38
UNITED RENTAL NA URI 5 1/4 01/15/30	22, 357, 469. 80	0. 74	NATIONAL STORAGE NSA 6 PERP	5, 236, 212. 72	0. 17
VIASAT INC VSAT 5 5/8 04/15/27	23, 537, 481. 09	0. 78	NRG ENERGY INC NRG 10 1/4 PERP	15, 459, 622. 76	0. 51
VISTRA OPERATION VST 5 07/31/27	20, 435, 633. 78	0. 68	PNC FINANCIAL PNC 6. 2 PERP	19, 943, 867. 62	0. 66
WESCO DISTRIBUT WCC 7 1/4 06/15/28	14, 572, 294. 45	0. 48	REINSURANCE GRP RGA 7 1/8 10/15/52	21, 440, 213. 50	0. 71
XPO INC XPO 7 1/8 06/01/31	5, 029, 863. 39	0. 17	SCE TRUST VII EIX 7 1/2 PERP	22, 230, 022. 50	0. 74
優先証券			SEMPRA SRE 4 7/8 PERP	14, 113, 632. 76	0. 47
米国			SYNCHRONY FINANC SYF 5 5/8 PERP	5, 457, 900. 00	0. 18
ALLSTATE CORP ALL 7 3/8 PERP	15, 207, 075. 00	0. 50	VISTRA CORP VST 7 PERP	9, 385, 208. 33	0. 31
ALLY FINANCIAL ALLY 4. 7 PERP	18, 411, 292. 13	0. 61	VISTRA CORP VST 8 PERP	34, 038, 837. 91	1. 13
ALLY FINANCIAL ALLY 4. 7 PERP	4, 906, 663. 31	0. 16	WELLS FARGO CO WFC 5 7/8 PERP	21, 626, 130. 10	0. 72
AMERICAN EXPRESS AXP 3. 55 PERP	14, 771, 019. 24	0. 49	WELLS FARGO CO WFC 7 5/8 PERP	25, 917, 519. 07	0. 86
ATHENE HOLDING ATH 6 3/8 PERP	15, 505, 571. 34	0. 51	WESCO INTL WCC 10 5/8 PERP	7, 133, 400. 00	0. 24
ATHENE HOLDING ATH 6. 35 PERP	5, 180, 358. 64	0. 17	転換社債		
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/2 PERP	7, 483, 873. 61	0. 25	米国		
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/4 PERP	15, 212, 868. 66	0. 50	BANK OF AMER CRP BAC 7 1/4 PERP	14, 528, 445. 12	0. 48
			FIRSTENERGY CORP FE 4 05/01/26	14, 158, 188. 89	0. 47

NWQグローバル厳選証券ファンド

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
MER LYNCH INT CV BAC 0.12 02/20/24	14,846,099.12	0.49
WELLS FARGO CO WFC 7 1/2 PERP	22,619,934.78	0.75
普通株式		
フランス		
SANOFI-ADR	22,249,202.00	0.74
英国		
SHELL PLC-ADR	16,397,360.00	0.54
米国		
AMERICAN TOWER CORP	14,701,428.00	0.49
APPLIED MATERIALS INC	8,314,191.00	0.28
CARRIER GLOBAL CORP	16,338,780.00	0.54
CIGNA GROUP/THE	14,792,830.00	0.49
CISCO SYSTEMS INC	7,204,152.00	0.24
CONOCOPHILLIPS	12,117,708.00	0.40
DUPONT DE NEMOURS INC	15,978,361.00	0.53
EXXON MOBIL CORP	13,277,344.00	0.44
GENERAL DYNAMICS CORP	14,749,256.00	0.49
GILEAD SCIENCES INC	15,456,708.00	0.51
HEWLETT PACKARD ENTERPRIS	15,501,042.00	0.51
HUMANA INC	20,601,450.00	0.68
HUNTINGTON INGALLS INDUST	15,370,688.00	0.51
INTEL CORP	16,281,000.00	0.54
KENVUE INC	6,717,360.00	0.22
MCDONALD'S CORP	21,763,834.00	0.72
MEDTRONIC PLC	13,238,466.00	0.44
NVENT ELECTRIC PLC	17,187,331.03	0.57
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	14,704,704.00	0.49
PUBLIC STORAGE	17,659,500.00	0.59
SEALED AIR CORP	7,764,152.00	0.26
SEMPRA	13,609,379.22	0.45
VALERO ENERGY CORP	6,136,000.00	0.20
WALMART INC	22,071,000.00	0.73

<補足情報>

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2025年3月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2024年9月18日から2025年3月17日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1258国庫短期証券 2024/12/23	11,398,953		
1277国庫短期証券 2025/3/31	10,796,144		
1286国庫短期証券 2025/5/12	3,497,277		
1266国庫短期証券 2025/2/10	2,499,930		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年3月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（23,774,918千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作 成 期	2025年3月17日現在						
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち BB 格 以 下 組 入 比	残存期間別組入比率		
					5 年以上	2 年以上	2 年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	14,300,000	14,297,773	59.1	—	—	—	59.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年3月17日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	
国債証券	1277国庫短期証券	— %	10,800,000 千円	10,799,449 千円	2025/03/31	
	1286国庫短期証券	—	3,500,000	3,498,324	2025/05/12	
合 計	銘柄数 金 額	2銘柄	14,300,000	14,297,773		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第20期（決算日 2024年12月9日）

（作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

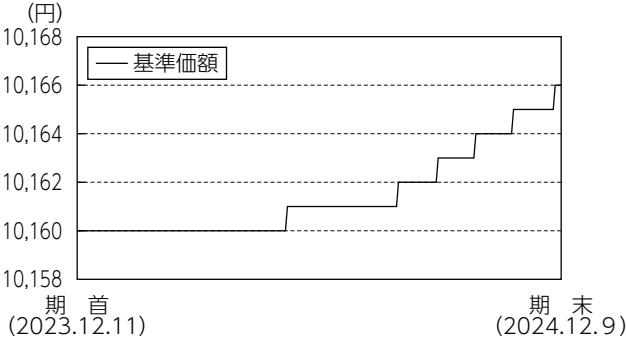
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比	
	円	%	%
(期首)2023年12月11日	10,160	—	—
12月末	10,160	0.0	—
2024年1月末	10,160	0.0	—
2月末	10,160	0.0	—
3月末	10,160	0.0	54.3
4月末	10,160	0.0	61.4
5月末	10,161	0.0	61.1
6月末	10,161	0.0	53.7
7月末	10,161	0.0	53.8
8月末	10,162	0.0	54.0
9月末	10,163	0.0	56.8
10月末	10,164	0.0	52.1
11月末	10,165	0.0	59.1
(期末)2024年12月9日	10,166	0.1	59.0

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,160円 期末：10,166円 騰落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円	千円
		34,898,602	— (21,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1258国庫短期証券 2024/12/23	11,398,953		
1219国庫短期証券 2024/6/24	10,999,769		
1239国庫短期証券 2024/9/24	9,999,950		
1266国庫短期証券 2025/2/10	2,499,930		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		期 末		うち88格以下 格以上 格以下 格以上		残存期間別組入比率	
	額面金額	評 価 額	組入比率	5年以上	2年以上	2年未満	5年以上	2年以上
国債証券	千円 13,900,000	千円 13,899,790	% 59.0	% —	% —	% —	% —	% 59.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当 期		期 末		償還年月日	
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	1258国庫短期証券	%	千円 11,400,000	千円 11,399,837	2024/12/23
	1266国庫短期証券	—	2,500,000	2,499,953	2025/02/10
合計	銘柄数 2銘柄		13,900,000	13,899,790	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期		期 末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 13,899,790	% 57.7	千円 10,201,274	% 42.3
コール・ローン等、その他	10,201,274	42.3	10,201,274	42.3
投資信託財産総額	24,101,065	100.0	24,101,065	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期	期 末
(A) 資産	24,101,065,702円	24,101,065,702円
コール・ローン等	10,201,274,983	10,201,274,983
公社債(評価額)	13,899,790,719	13,899,790,719
(B) 負債	539,914,600	539,914,600
未払解約金	539,914,600	539,914,600
(C) 純資産総額(A－B)	23,561,151,102	23,561,151,102
元本	23,177,163,591	23,177,163,591
次期繰越損益金	383,987,511	383,987,511
(D) 受益権総口数	23,177,163,591口	23,177,163,591口
1万口当り基準価額(C／D)	10,166円	10,166円

* 期首における元本額は19,198,713,135円、当作成期間中における追加設定元本額は26,183,209,751円、同解約元本額は22,204,759,295円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用) 9,272,436,966円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - AI新時代- (為替ヘッジあり) 1,316円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - AI新時代- (為替ヘッジなし) 1,316円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 1,862円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 1,862円
世界水資源関連株式ファンド 984円
ダイワ／“R I C I” コモディティ・ファンド 2,074,249円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／隔月分配型) 1,595円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／隔月分配型) 1,428円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／資産成長型) 1,772円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／資産成長型) 1,270円
世界セレクトティブ株式オープン 983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型) 983円
iFreeETF NASDAQ100インバース 1,625,040,517円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ 6,118,952,239円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース 1,922,334,672円
iFreeETF 米国10年国債先物インバース 748,591,588円
D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ 3,487,675,074円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル 1,851円
リターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 1,805円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル 1,805円
リターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 1,763円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル 1,957円
リターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 1,957円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル 1,773円
リターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 1,773円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 1,427円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 1,922円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,705円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 1,350円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,777円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル 1,777円
リターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,777円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,166円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,741,987円
受取利息	11,228,079
支払利息	△ 486,092
(B) 有価証券売買損益	58
売買益	58
(C) 当期損益金(A + B)	10,742,045
(D) 前期繰越損益金	307,369,188
(E) 解約差損益金	△357,989,162
(F) 追加信託差損益金	423,865,440
(G) 合計(C + D + E + F)	383,987,511
次期繰越損益金(G)	383,987,511

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。